

第41回 高知女子大学看護学会プログラム

—午前の部—

10:00 ~

開会の挨拶

10:20 ~

講演

「看護の可視化がもたらすもの」

—災害時の要配慮者を対象としたパッケージ開発の研究から見えてきたもの—

講師 加藤 令子 教授 (共立女子大学看護学部)

先生のご専門の小児看護学、災害看護学に関する研究活動を通して、看護の可視化によって何がもたらされるのかについてご講演いただき、皆さまと看護実践の発展を考えたいと思います。

—午後の部—

13:30 ~

ワークショップ

『看護を可視化する方略』

ワークショップ1

子どもの看取りに直面した家族を支える看護の可視化

～実践—研究からケアガイドラインを創造する～

話題提供者
コーディネーター

星川 理恵 (高知大学医学部附属病院) 高谷 恭子 (高知県立大学)
益守 かづき (久留米大学)

ワークショップ2

地域の健康課題と看護支援を可視化する方策

～大学と行政の協働による取り組み～

話題提供者
コーディネーター

廣末 ゆか (高知県中芸広域連合)
時長 美希 (高知県立大学)

ワークショップ3

看護をつなぐ急性期病院の取り組み ～せん妄ケアに焦点を当てて～

話題提供者
コーディネーター

井上 和代 (高知赤十字病院) 福田 亜紀 (高知医療センター)
大川 宣容 (高知県立大学)

ワークショップ4

身体抑制の調査に基づく取り組みから

話題提供者
コーディネーター

関 正節 (高知医療センター) 野村 陽子 (高知県立大学)
小笠原 麻紀 (高知大学医学部附属病院)

ワークショップ5

効果的な糖尿病教育プログラムを目指して

～支援の可視化とチームでの共有化～

話題提供者
コーディネーター

尾崎 みづほ (高知赤十字病院)
内田 雅子 (高知県立大学)

ワークショップ6

看護の実践を語ることで気づく自己の成長 *新人～3年目の看護者対象

話題提供者
コーディネーター

森沢 葉月・横山 彩 (高知医療センター)
納 万貴・前田 佳子 (高知大学医学部附属病院)
小澤 若菜・下元 理恵 (高知県立大学)

ワークショップ7

特別支援学校における災害の備えへの介入研究 *修了生対象

～行政機関との協同・連携の重要性～

話題提供者
コーディネーター

加藤 令子 (共立女子大学)
畦地 博子 (高知県立大学)